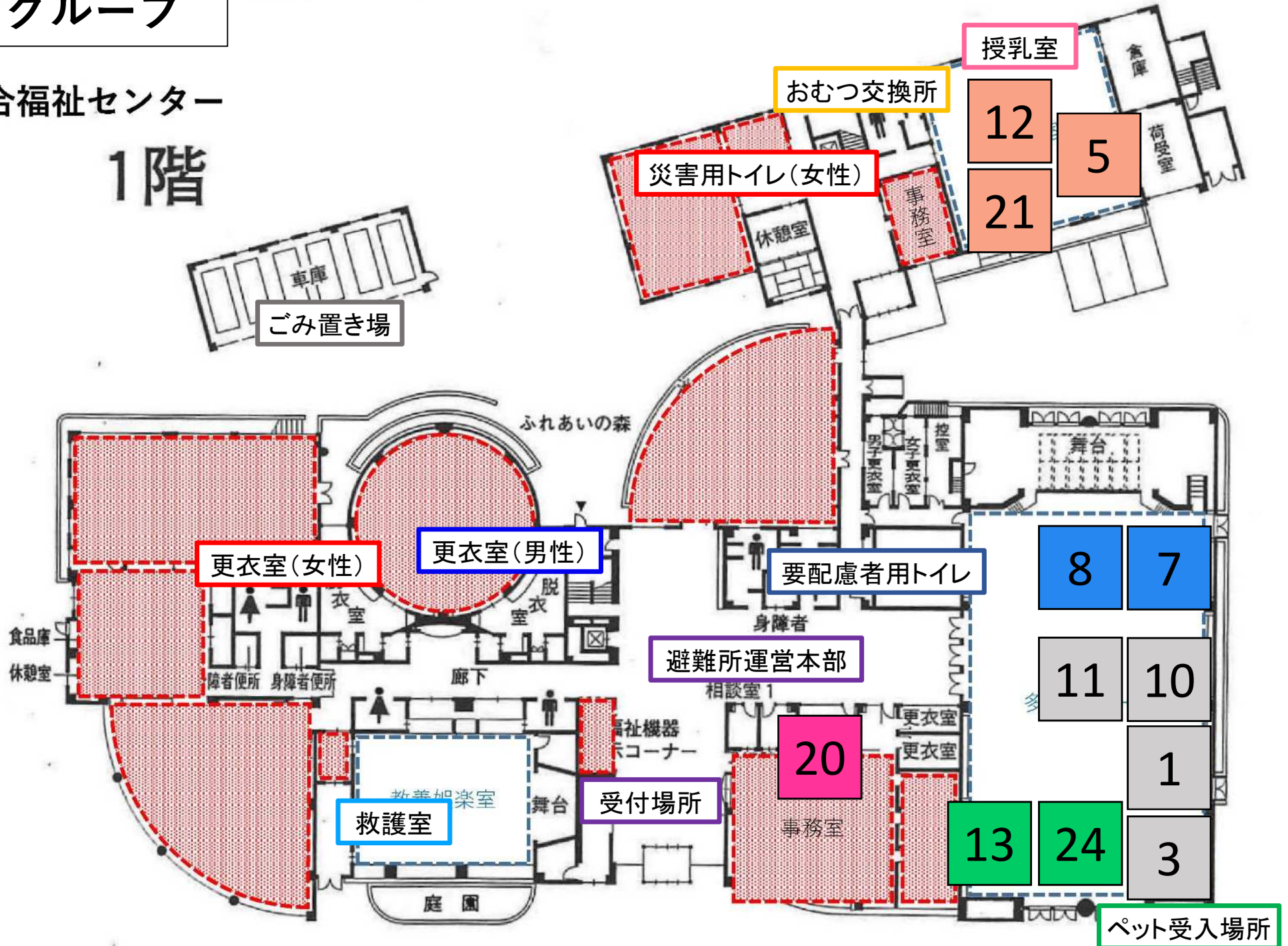


# Aグループ

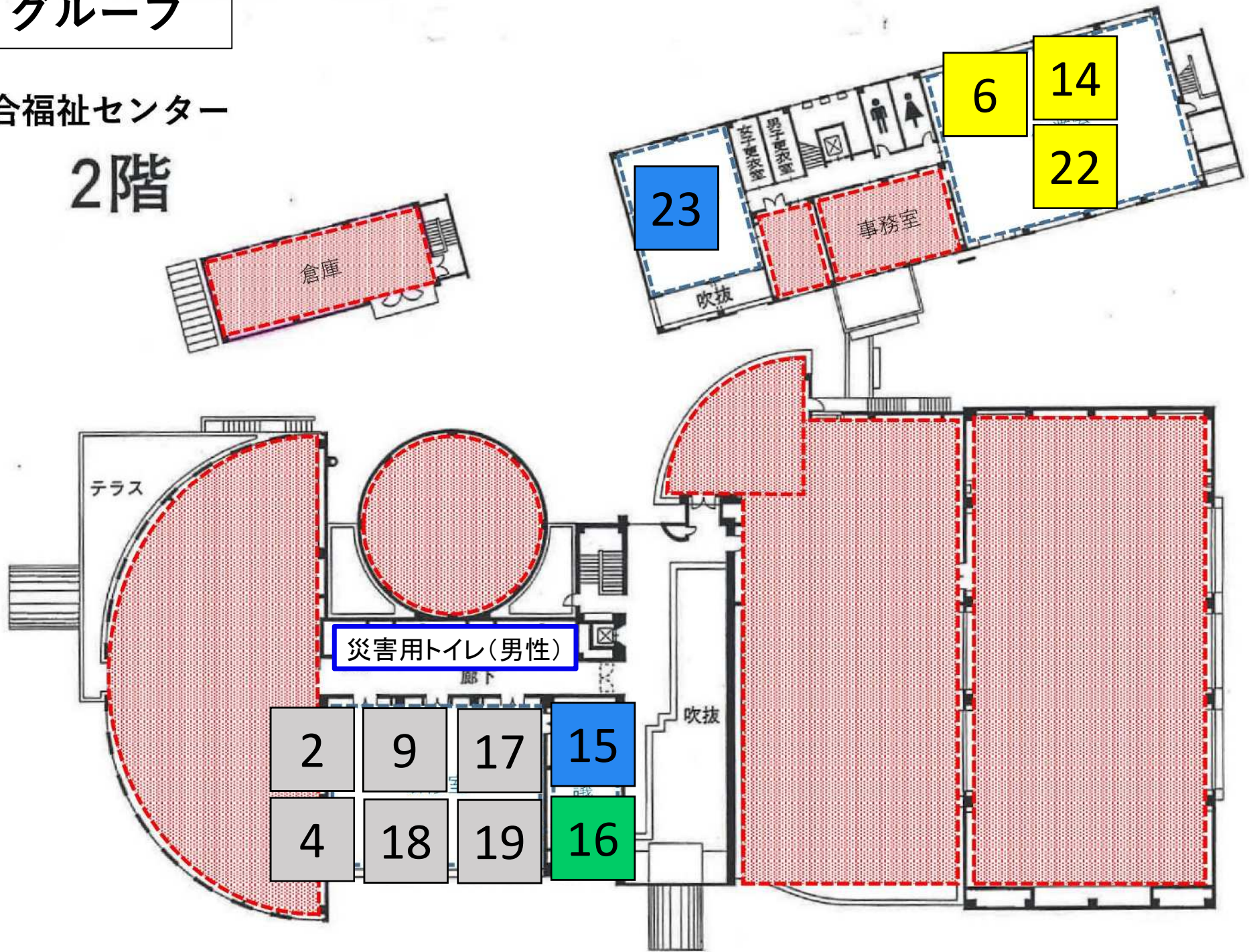
## 総合福祉センター 1階



# Aグループ

総合福祉センター

2階

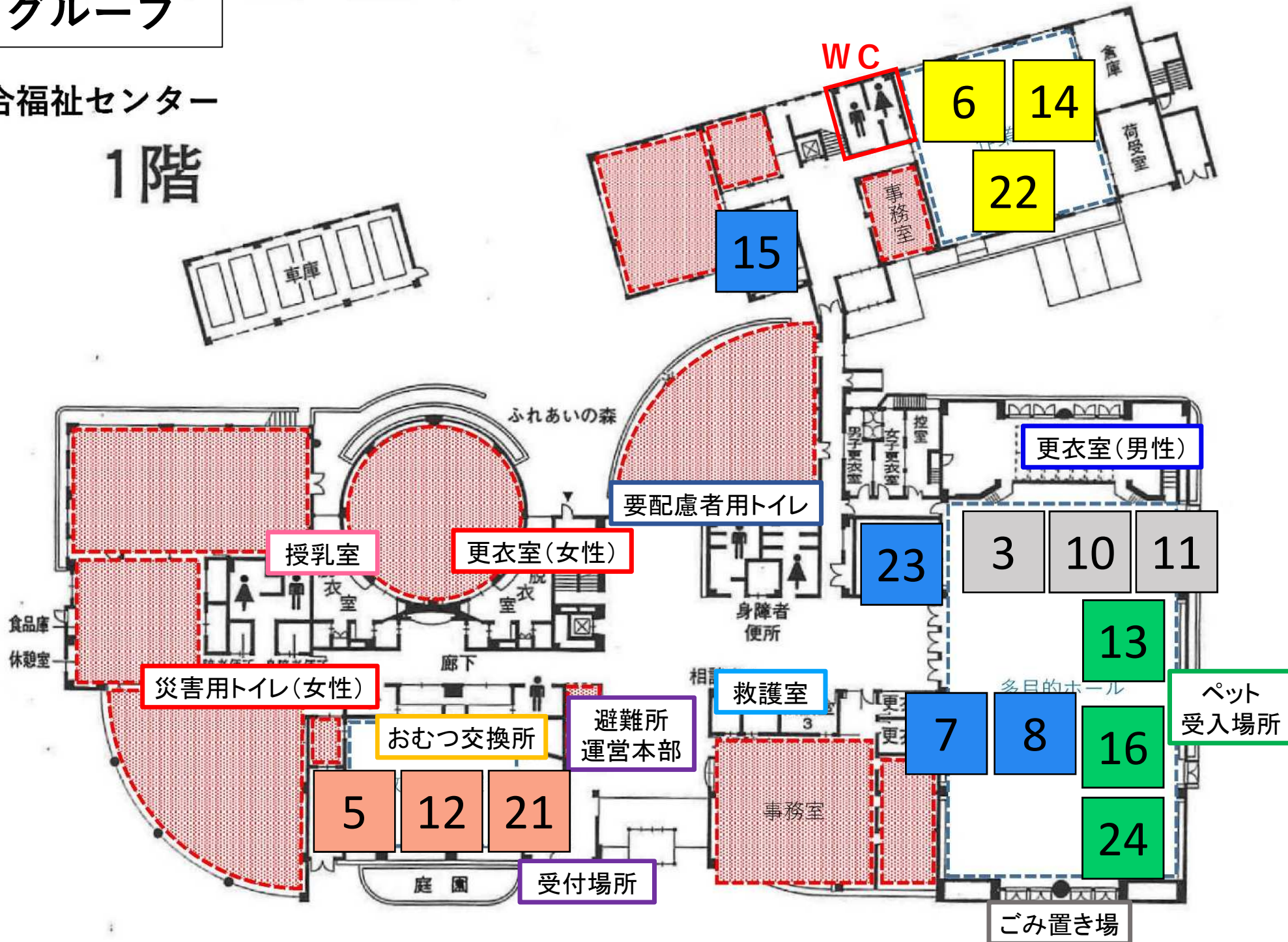


## 【A グループ】

- ・離れた場所に、小さな子どもがいて授乳が必要な家庭を配置した。その近くにおむつ交換所も設置した。
- ・ゴミ置き場は、においもあるので外に設置した。
- ・たたみの部屋を救護室にした。
- ・相談室を感染症の隔離の部屋にした。
- ・ペットは外に近い場所にした。
- ・健康な方は2階にした。
- ・要配慮者は、トイレと本部の近くに配置した。

# Bグループ

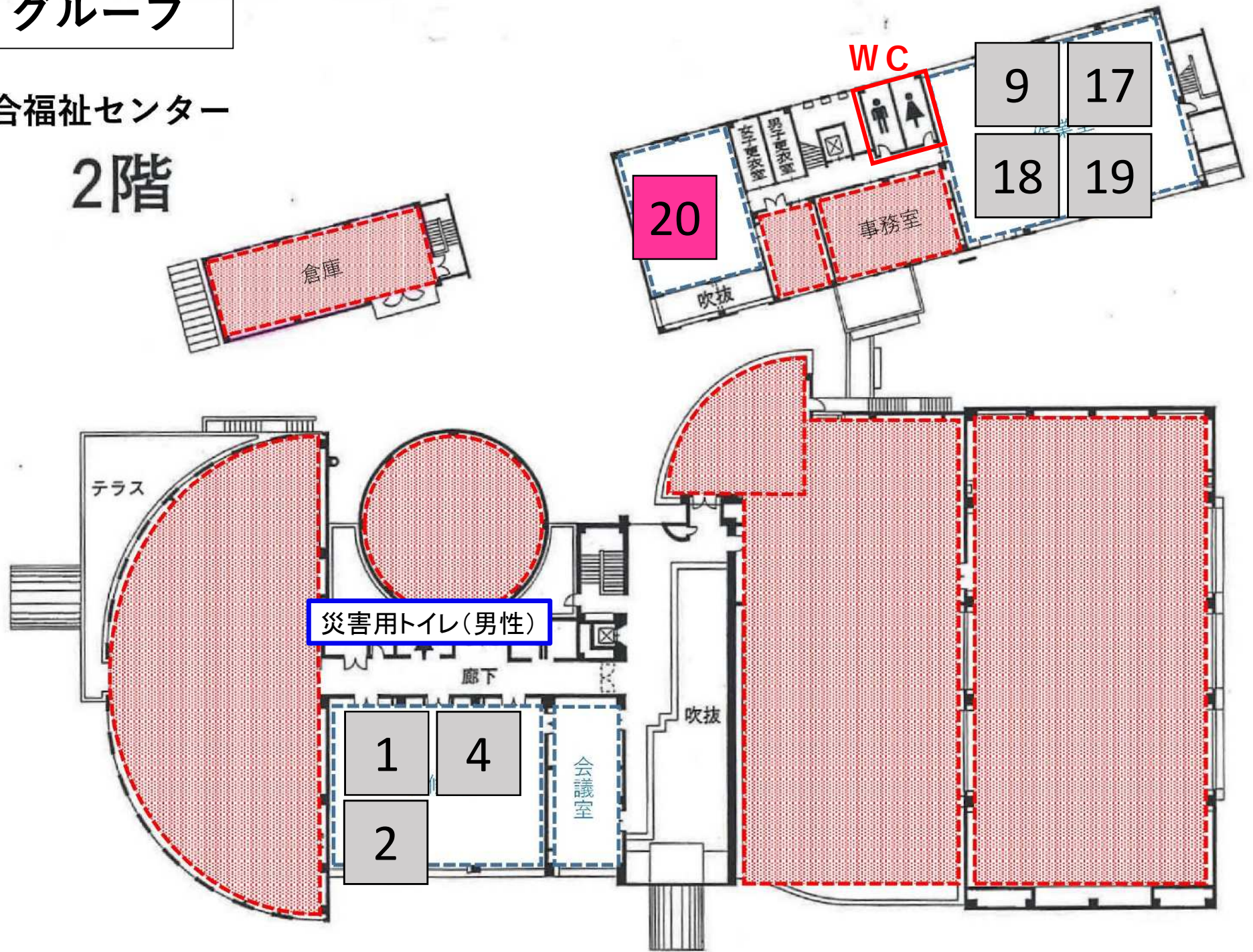
総合福祉センター  
1階



# Bグループ

総合福祉センター

2階

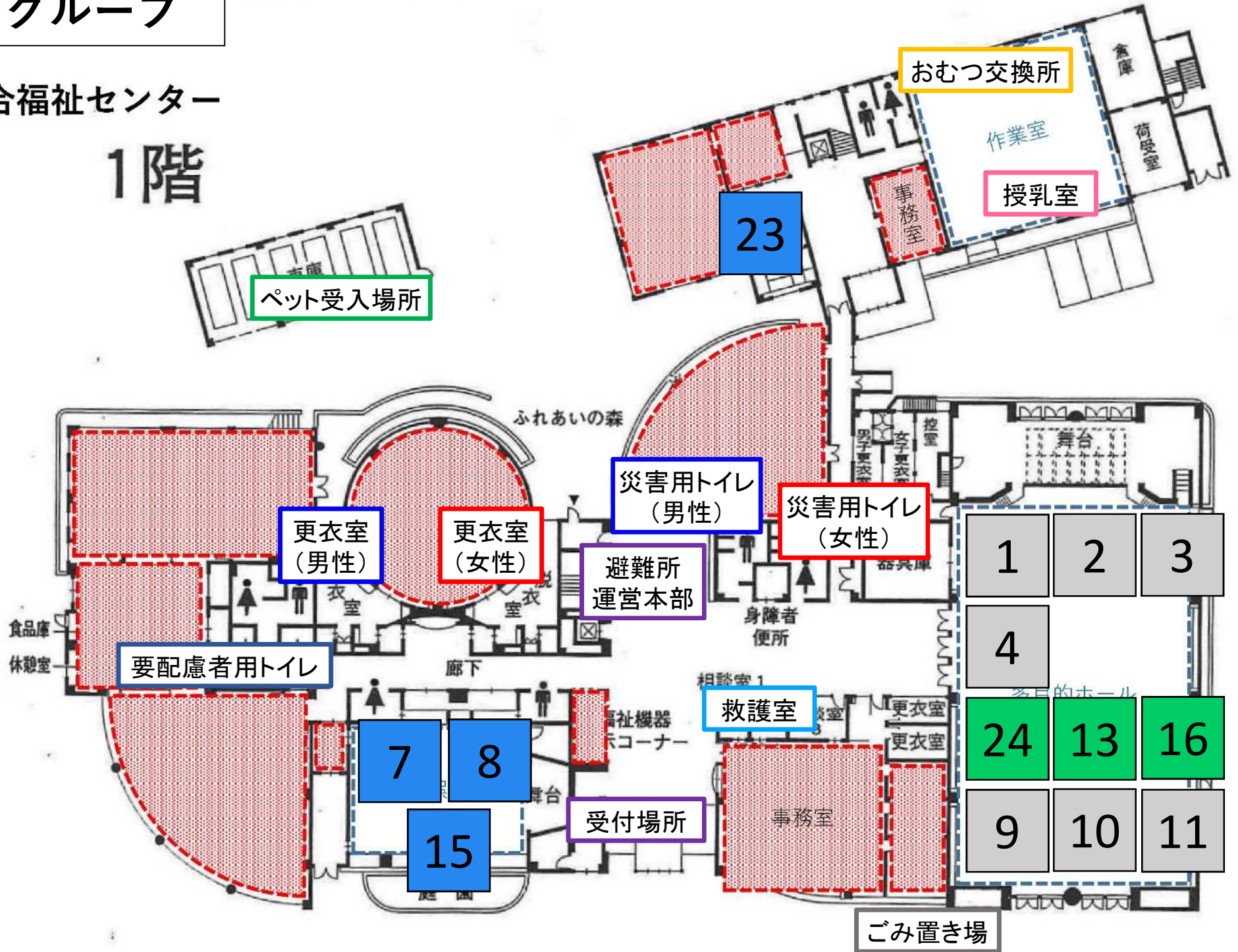


## 【B グループ】

- ・妊婦(9ヶ月)は、災害でストレスを抱え、早産になる可能性を考えて1階の狭い器具庫にした(ストレスにならないように)。
- ・ペットがいる世帯は、ペット受入場所(外)の近い多目的ホールを使用する。
- ・0歳の赤ちゃんがいる世帯は、たたみの和室におむつ交換所を設置し、授乳室の近くを使用する。
- ・幼児のいる世帯は、外にもすぐ出られるように1階の作業室にした。
- ・精神疾患のある方は、1階の休憩室にした。
- ・帰宅困難者は一時的な避難のため、2階の作業室にした。
- ・スムーズに受付ができるようにすることが今後の課題である。

# Cグループ

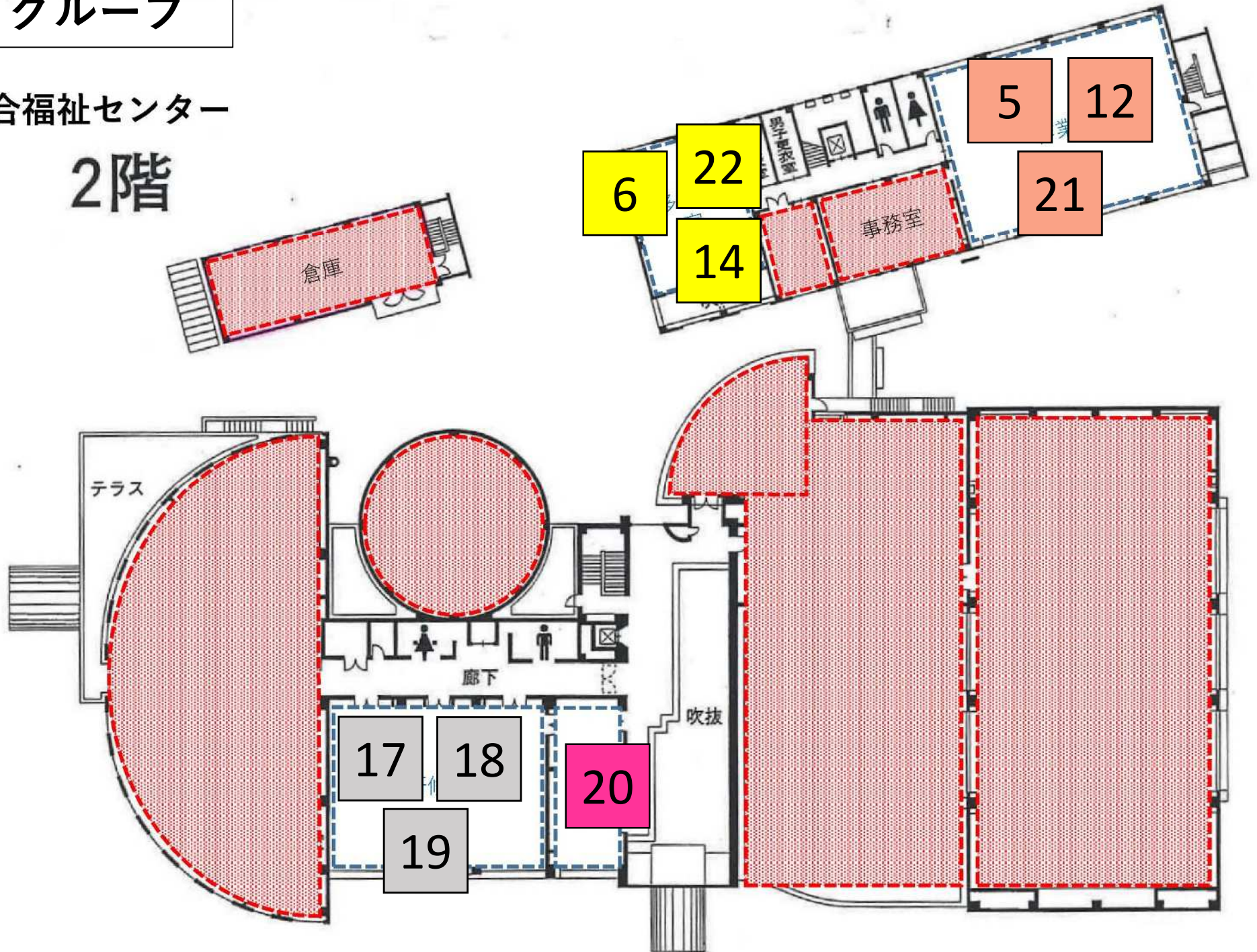
## 総合福祉センター 1階



# Cグループ

総合福祉センター

2階





## 【C グループ】

### 配慮点

- ・要配慮者の近くに要配慮者用トイレを設置した。
- ・幼児、乳児のいる世帯をシルバーの棟に配置した。
- ・脱衣所を活用して更衣室を設置した。
- ・帰宅困難者を単独の部屋へ配置した。
- ・発熱者は、救護室とは別の単独の部屋へ配置した。

### 改善点

- ・ペット同行世帯をペットの近くにしたい。

# Dグループ

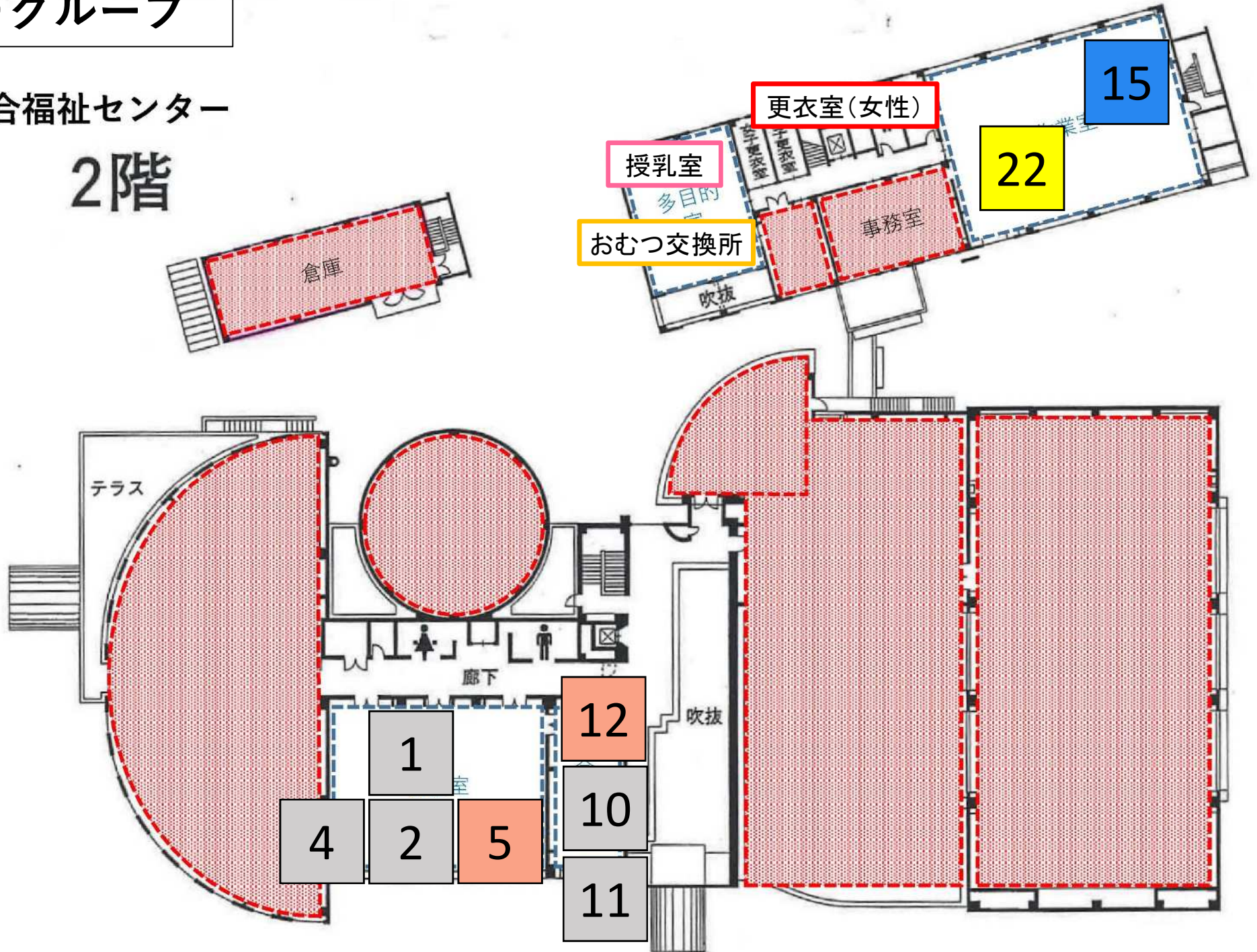
総合福祉センター  
1階



# Dグループ

総合福祉センター

2階



## 【Dグループ】

### 配慮点

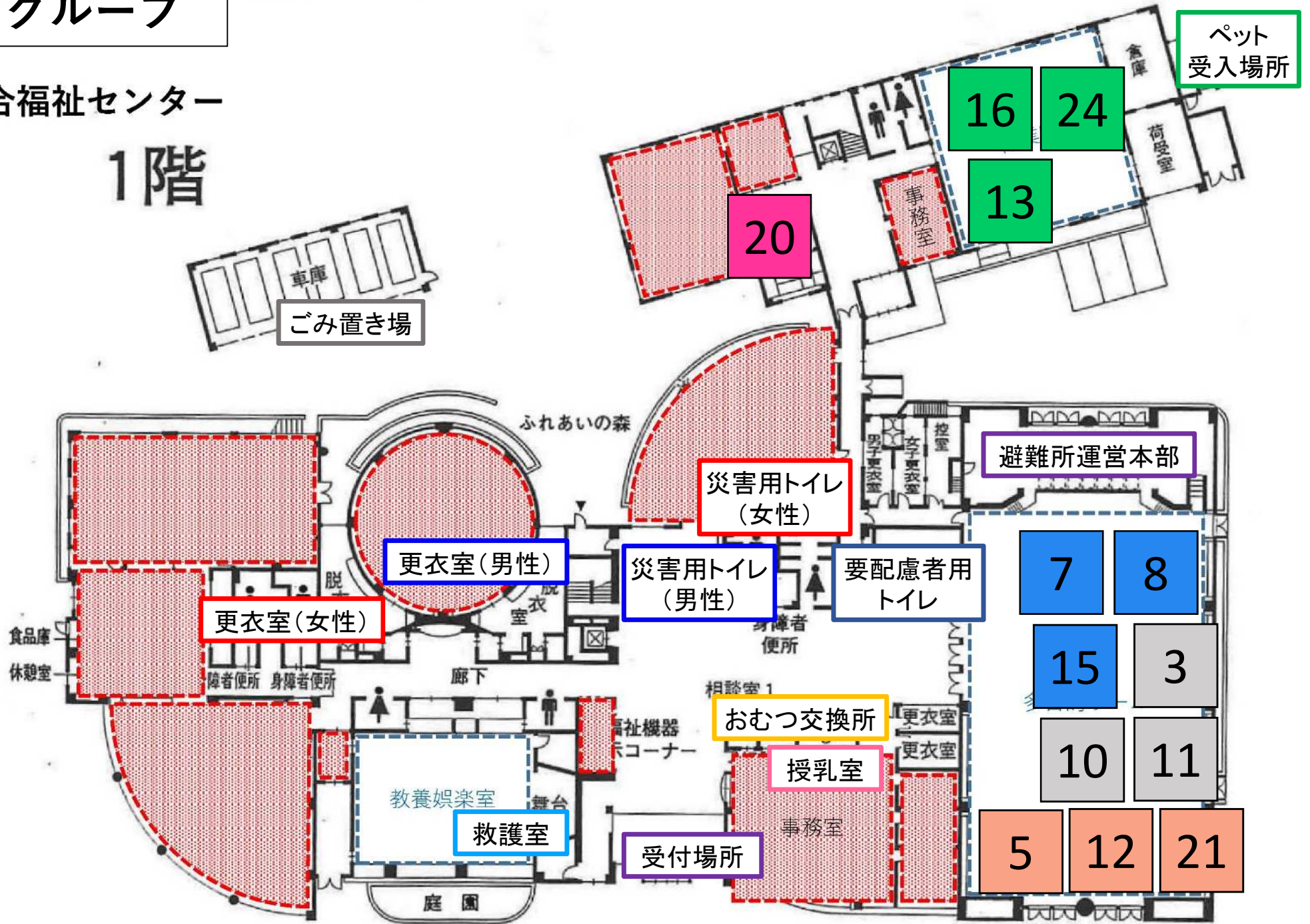
- ・ペットは家族なので、外にテントを設置して過ごす。
- ・おむつ交換所や授乳室を一緒の場所に設置した。
- ・若くて元気な人は、物資を運んでもらうなど、色々と運営の手伝いをしてもらう。
- ・妊婦はすぐに対応できるように救護室の近くに配置した。
- ・双子の赤ちゃんがいる世帯の周りに、あやしてもらったり、母親の相談相手としてサポートしてもらうための世帯を配置した。
- ・要配慮者世帯は1階、元気な世帯は2階に配置した。
- ・部屋数の関係で、泣いている子どもがいる世帯と障がい者がいる世帯を一緒にするか悩んだが、パーティションで区切って対応することにした。

### 改善点

- ・車庫を有効に活用できるとよかった。

# Eグループ

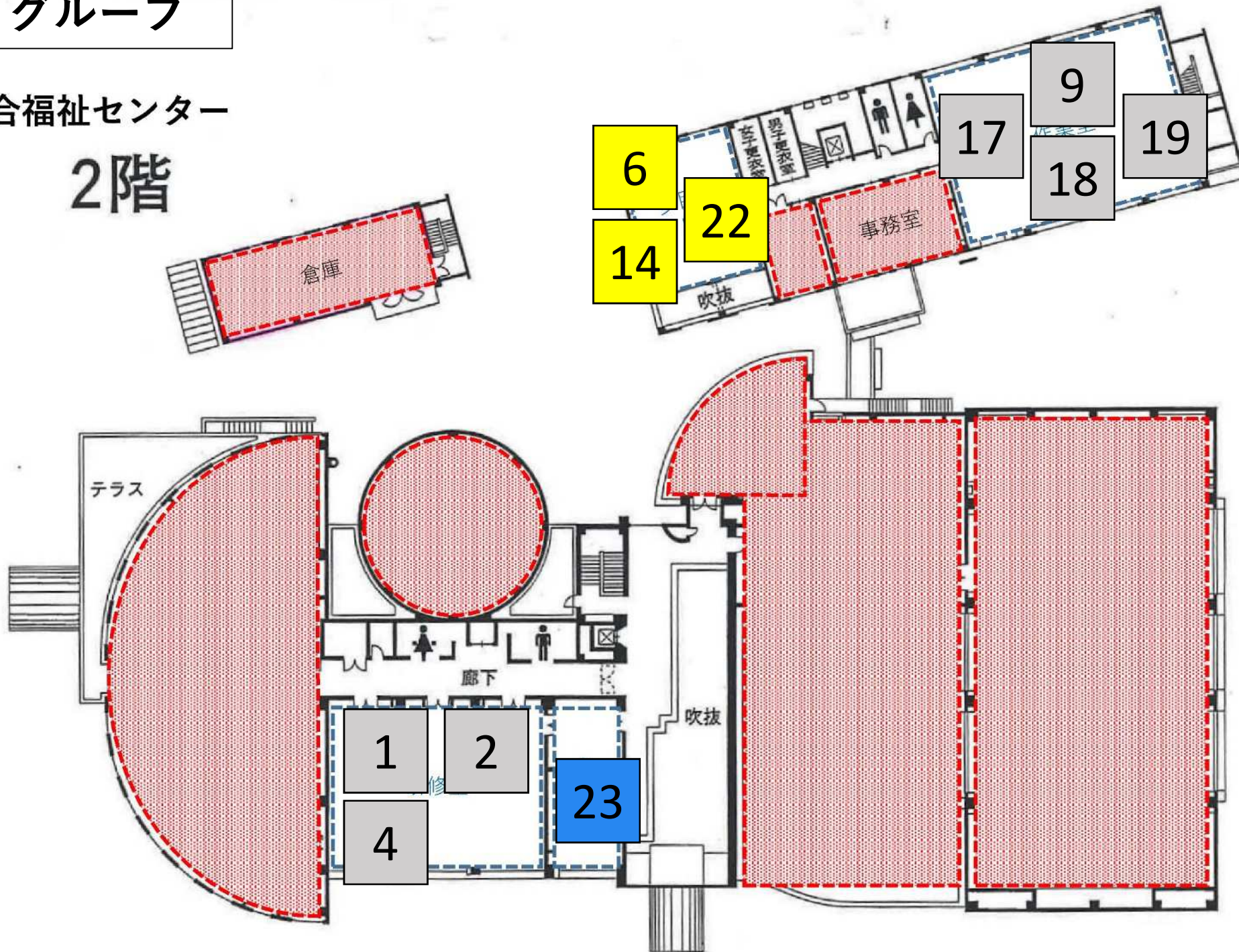
## 総合福祉センター 1階



# Eグループ

総合福祉センター

2階



## 【Eグループ】

- ・配慮が必要な方は1階に、比較的元気な方は2階に配置した。
- ・ペット連れは一箇所にまとめ、ペット受入場所を近くに設置する。
- ・もともと関係のある方々(地域性)を近くに配置する。
- ・小さい子供がいるなど、同じ立場の世帯を同部屋にした。
- ・ゲージがないペットは、外につないでおく。